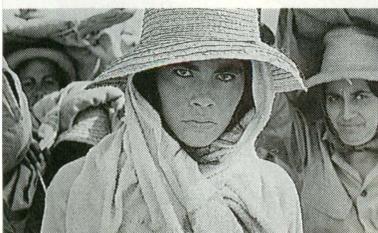


# ルシア

LUCIA

監督 ■ ウンベルト・ソラス  
脚本 ■ ウンベルト・ソラス  
          フリオ・ガルシア・エスピノサ  
          ネルソン・ロドリゲス  
撮影 ■ ホルヘ・エレラ  
音楽 ■ レオ・プロウエル  
出演 ■ (1895年) ラケル・レプエルタ  
          (1932年) エスリンダ・ヌニェス  
          (196・年) アテラ・レグラ  
キューバ・ICAIC(キューバ映画芸術  
・産業庁)作品  
1968年製作/白黒/ヴィスタサイズ/  
160分  
配給 ■ (株)国際シネマライブラリー



'69年モスクワ国際映画祭金賞  
同国際映画批評家連盟賞

……そして女性たちは歩きはじめた。



■解説

歴史の激動を生きた3人のルシアと3つの(愛)、それぞれの目ざめへの旅をめぐるめく映像美の奔流で描くキューバ映画の画期的傑作。ウンベルト・ソラス監督は弱冠27歳の長編処女作とは思えぬ圧倒的な才能と力量で世界を魅了、モスクワ映画祭金賞など多数の国際的栄誉に輝く。第1話はヴィスコンティ、第2話はトリュフォーを思わせると評され、第3話のユニークなラテン的陽気とともに挿話ごとのあざやかなスタイルも絶賛を受けた。



監督■ウンベルト・ソラス  
 脚本■ウンベルト・ソラス  
 フリオ・ガルシア・エスピノサ  
 ネルソン・ロドリゲス  
 撮影■ホルヘ・エレラ  
 音楽■レオ・プロウエル  
 出演■〈1895年〉ラケル・レブエルタ  
 〈1932年〉エスリンダ・ヌニェス  
 〈196・年〉アテラ・レグラ  
 キューバ・ICAIC(キューバ映画芸術・産業庁)作品  
 1968年制作/白黒/ヴィスタサイズ/160分  
 配給■株式会社国際シネマ・ライブラリー

# ルシア LUCIA

’69年モスクワ国際映画祭金賞  
 同国際映画批評家連盟賞

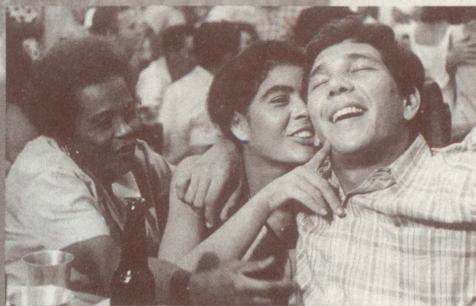
■ストーリー

第1話(1895年)——キューバは長いスペインの植民地支配にたいする独立戦争にゆれ動く、ルシア(ラケル・レブエルタ)はハバナの富裕な家庭でさびしいしつけに育ち、婚期をすぎてまだ処女。しかし弟は農村でスペイン軍と戦い、彼女も独立軍支援の気持が強い。その彼女がマドリッドから来たハンサムな実業家カスティジャンとの恋に落ちる。盲目的な激情に身をゆだねるルシアの前途に男の裏切りが待っていた……。

第2話(1932年)——キューバは1902年形式的に「独立」、しかしアメリカに従属する独裁政権下にあえぐ。若者たちはマチャード独裁に身を挺してたた

かう。ブルジョワ家庭の娘ルシア(エスリンダ・ヌニェス)はそんな若者のアルドと出会い、恋をし、彼とともに革命の道を歩むようになる。マチャードは倒れるが、事態は変わらない。アルドはあせりのあまり個人的な実力行動に出て倒れる。ルシアは彼の遺志を継いで生きる。

第3話(196・年)1959年1月、カストロたちによる革命が成功、キューバの農村にも新しい時代が来る。陽気な笑いのなかでルシア(アテラ・レグラ)はいきいきと働くが、新婚の夫トマスは男性優位の古い考えと妻へのやきもちから、彼女を家に閉じ込めて外へ出そうとはしない。ルシアはついに家をとび出し、トマスが彼女を追う……。



12月中旬よりお正月ロードショー! 2館共通特別鑑賞券1,200円発売中  
 (当日一般1,500円・学生1,300円の処)

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場地で求め下さい。グループ鑑賞のお申し込みは㈱メイジャー ☎03(541)2508まで。

キネカ大森

大森駅東口・西友5階 ☎03(762)6000

連日	11:30	3:00	6:30
----	-------	------	------

●自由定員制・入替制

キネカ錦糸町

錦糸町駅南口 西武7階 ☎03(631)3121

連日	12:10	3:15	6:20
----	-------	------	------